



小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

第1回小城の歴史講座「千葉氏の足跡」を開催します

現在NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する千葉常胤つねたねから7代目の宗胤むねたねは、小城へ下向し九州千葉氏の祖となりました。その後、千葉常胤の子孫たちが、小城の地に住み発展させます。その影響と関わりを今回の講座で学びます。

◆日時 5月21日(土) 10時～11時30分

◆場所 歴史資料館 2階 研修室

◆入場料 無料(先着25人で要電話予約)



▲上空から見た千葉城跡

小城の歴史講座を開催しました

3月5日(土)に歴史資料館で小城の歴史講座を開催し、講師に研ぎ師の今川泰靖いまがわひろやすさんをお招きしました。

参加者は実際に刀剣に触れながら、演題「刀剣の見方」の講話を熱心に聞かれました。



▲歴史講座の様子

おぎの歴史 ✿ 探検隊

長崎を往復した小城藩主 — 『長崎御往来日記』(その1)

小城9代藩主鍋島直堯なべしま なおたかが、長崎警備の巡見のため長崎を往復した記録を紹介し、小城藩家臣日出島家に伝わっていた『長崎御往来日記』は、文政7(1824)年5月11日から18日までの道中の記録が記されています。

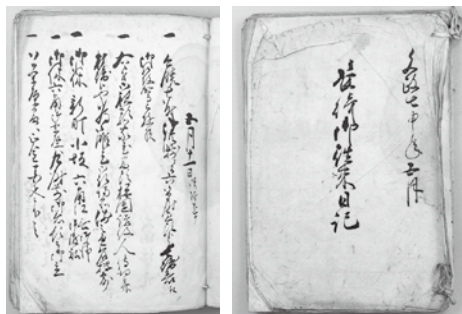
長崎警備は、江戸時代佐賀藩と福岡藩が務めた長崎港の警備役で寛永18(1641)年に福岡藩が命じられ、翌年佐賀藩が命じられました。以降、1年交代で警備を務めます。

佐賀藩の当番の年には、佐賀藩主が長崎に巡見に行くのが通例となっていました。何らかの事情で行けない場合は小城藩主が代理を務めることがありました。文政7年は、佐賀藩9代藩主鍋島高直なべしま たかちかが、子の直正なおまさと11代将軍徳川家齊とくがわ いえなりの娘盛姫もりひめとの婚礼準備で、江戸の滞在期間を延長したため、代理で小城

藩主が5月・7月・9月に長崎に赴いています。

5月11日七ツ時(午前4時頃)集合し、六ツ半(午前7時頃)小城を出発しました。鹿島・多良経由で14日長崎の佐賀藩屋敷に到着し、翌15日朝に、巡見を行っています。午後には帰途につき、5月18日、小城に戻っています。

(「小城藩主による長崎番所御見廻について」『小城の歴史第54号』より)(続) 小城郷土史研究会/著



▲長崎御往来日記 (小城市立歴史資料館寄託)

◆開館時間 9時～17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132